

一笑会



—会報 13 号—写楽特集号

2017 年 2 月 12 日発行

発行：一笑会事務局

1. 会長挨拶 金澤有司

3 周年おめでとうございます！

私がカメラに触ったのは確か中学 3 年（1956 年）春の修学旅行のとき、旅たちの朝に、母親から写真機持ったかと言われ、急ぎ父親の写真機をボストンバックに詰めたのが触った最初、持ったはいいがフィルムの枚数は、36 枚撮り残りわずか、フィルム交換も分からず、案の定、交換に失敗し、最初のフィルムは、おしゃか、あとは想像にお任せします。

あれから 60 年、写真機からカメラ、一眼レフと触ってきたが、出だしが出だし、興味もさほどなかったこともあり、進歩がないまま、写楽の仲間となりました。

モットーの「楽しく自由な交流」は、私にとり自由奔放に撮影が出来、楽しく仲間と語りあえる場です。

出展を意識しないで、この会のモットーを皆さん楽しんで下さい。

向上心のある方は、ある方で楽しんで下さい。あとは想像の答えは、頁の末尾です。

2. 写楽発足のエピソードと名称

一笑会が 2013 年 6 月に発足して会員の気心が通じ合うようになった翌年 5 月頃、篠原さんが発案し、一笑会の会長と相談した結果、カメラ同好会の立上げを行うことになりました。同好会の名称（写楽）は篠原さんが命名。世話人を篠原さん、山戸さん、小林さんとして、どういう同好会にするか、一笑会の外か中か、オープンか、撮影技術の違いは、持参カメラの機種は等々、喧々諤々。その結果、一笑会の中でカメラ同好会の誘いを行うことになりました。素人集団であるので、デジタルカメラから高級なカ

メラの持参で気軽に撮影会をやろうということではじめました。写真のプロとして小林さんの知人を篠原さんに紹介して、篠原さんからその知人、阿部啓一さんを講師として招くことになりました。篠原さんの尽力で講師料は、撮影会のあとの反省会のご招待で、講師は快く写楽のこれからの行く末を見守っていただけることとなりました。

写楽の名称は、江戸時代の浮世絵師東洲斎写楽の写楽から採ったもので、写楽の描いた逼真の描写は、役者の個性、美醜を問わず躍動感あふれる役者絵とともに、現在の私達の目にも今なお新鮮さがあります。日頃の撮影の成果を高いところに求めようとカメラのレンズを透して、またプリントされたものが、この境地に近づければと思いを込めて名付けたものです。エンブレムは、大首絵の代表作の奴江戸兵衛です。



3. 撮影会と品評会の模様

第 1 回 ML230



テーマ：自由。作品数：35 枚

出席者：阿部先生以下 14 名

阿部講師評、皆さんが様々な場面で自分の感動を留めようとされていることをプリントを観てひしひしと伝わってきます。

第 2 回 ML415



テーマ：花、建物、自由。作品数：38 枚

出席者：阿部講師以下 15 名（作品のみ 2 名含む）

阿部講師評、2 回目となると出展作品も多様性が出てきてカメラ機能を駆使しているかのよう

だが、色々な操作を使いこなすのはロケーションの事前把握があつてこそ、普段は一瞬の判断が求められるため、機会を逃してしまうことが多々あります。

第3回 笑 ML1181



テーマ：横浜、鎌倉、水上バス・浜離宮、津南・秋山郷、平林寺、自由。作品数：35枚
出席者：阿部講師以下12名（作品のみ3名含む）

阿部講師評、反省会でのこと、人数の多い男性群は、男性らしいダイナミックな作品が少なかったとほろ酔い加減で話されていた、同席した山戸、浅見、山根さんも反省、更なる精進を心掛けようと発信しています。

4.歴代の阿部賞（大賞）

阿部啓一講師の講評

第1回 2014年1月17日

柏 京子 花

講評

構図など気にせずに、感情の動くままに表現することをレンズの先の花に向けた1葉

第2回 2016年1月16日

山戸恒一 朝日に輝く伊豆大島

講評

海上の雲にカメラ機能が有効に働き、適正露出が決まり、旭日が輝く日の出の感動を表現できた1葉

第3回 2017年1月14日

吉田照子 晴天の津南

講評

心の窓に刻む風景が其の儘プリント画像に表現できた1葉

5.出展作品の各賞名 選出者 阿部啓一講師

第1回 推薦1名 入選1名 佳作1名

写楽賞3名（会員の得票数の多い順上位）

第2回 以降

阿部賞1名（優秀作品）

技術賞2名（技術的に魅力ある作品）

敢闘賞2名（努力が認められる作品）

写楽賞3名（会員の得票数の多い順上位）

第1回 2015年1月17日（土）

石神井公園区民交流センター会議室

10時～12時 参加者数14名 出展数32枚

作品構成 自由作品

賞名	氏名	題名
推薦	柏 京子	花
入選	久保田秀夫	湧水
佳作	金澤有司	美味しそうなホヤ
写楽賞	小林輝昭	平和
同	山根光生	サンセット
同	美濃眞一郎	水鏡に写る二重橋

第2回 2016年1月16日（土）

石神井庁舎第6会議室 13時30分～16時

参加者数 15名 出展数 38枚

作品構成 課題（花、橋、河川、電車、自動車、飛行機など）＋自由作品

賞名	氏名	題名
阿部賞	山戸恒一	朝日に輝く伊豆大島
技術賞	篠原あき子	ハイビスカス
同	柏 京子	花火
敢闘賞	村井健吾	津南の冬木立
同	浅見眞一郎	見るに見かねて
写楽賞	篠原あき子	カモメの行列
同	山戸恒一	可憐な花カタクリ
同	山戸恒一	眼上のアイガー

第3回 2017年1月14日（土）

石神井庁舎第6会議室 13時30分～15時30分

参加者数 12名 出展数 35枚

作品構成 撮影会（横浜、鎌倉、浜離宮、津南平林寺）＋自由作品

賞名	氏名	題名
阿部賞	吉田照子	晴天の津南
技術賞	篠原あき子	紅葉が弦の変化
同	金澤有司	秋山郷
敢闘賞	山根光生	水面のタワムレ
同	吉田照子	チャツボミ苔
写楽賞	吉田照子	初雪初詣で
同	篠原あき子	紅葉が弦の変化
同	山戸恒一	秋の彩り

6.活動実績 ML 笑は一笑会、と写楽

第1回 2014年6月14日～2015年1月17日

月日	MLNo	撮影会場所
5月12日	笑156	一笑会総会にてカメラ同
5月22日	笑202	好会「写楽」発足
5月25日	笑210	会員14名
5月28日	笑219	会長久保田秀夫

5月29日	笑 229	世話人小林輝昭 篠原あき子 山戸恒一 講師 阿部啓一
6月16日	1	写楽フリーメールのメー クリングリストML登録 名簿発信
6月20日	2	投稿第1号浅見さん
7月26日	32.41	第1回会議(光が丘図書館) 第1回阿部講座
8月16日	26.61.79 88.92	井草の森公園ひまわり
9月4日	27.41 101	檜原村払沢の滝
10月25日	111.115	小石川後楽園、古河庭園
11月8日	笑 308 166.167	河口湖もみじ回廊と富士 山麓紅葉巡り(バスツア ー)
12月27日	152.202 207	忘年会汐留、六本木、ミッ ドタウン、けやき坂イルミ ネーション
2015年 1月17日	198.202 230	品評会
第2回2015年3月21日～2016年1月16日		
月日	MLNo	撮影会場所
3月21日	232.258 269.271 272	神代植物公園
5月16日	283.293	神田本郷街並み雨天中止
7月18日	332.334 338.345	神田・本郷
9月19日	346.352	巾着田・高麗神社
11月6日 ～7日	笑 643.712 719.720. 723	新潟県津南(バスツアーin 津南)
12月26日	370.405 笑 733.747	アクアシティお台場 忘年会
2016年 1月16日	250.308 356.367 369.380 405.415	品評会
1月16日	笑 766.788	合同新年会大泉学園梅蘭
第3回2016年3月5日～2017年1月14日		
月日	MLNo	撮影会場所
3月5日	430 笑 838	横浜 P1 山手地区
3月19日	435.448 461.474	第2回阿部講座

5月7日	笑 911	横浜 P2 関内地区
5月21日	476	中止
7月16日	481.483 499.500 503	鎌倉江ノ電
9月17日	505.515	水上バス・浜離宮
11月4日 ～5日	笑 947.1041 1055.1062 1072.1114 1115.1116 1118.1119	津南・秋山郷巡り(バスツ アーin津南)
12月3日	520.521 523	平林寺
12月17日	笑 1120.1129 1144.1154	東京都写真美術館、エプス ビール記念館ツアー 合同忘年会練馬たぬき
2017年 1月14日	538.539 540.541 笑 1164.1170 1181	品評会 合同新年会 かごの屋石神井公園駅店
1月14日	笑 1157.1158	写楽の規則と注意事項の 改正承認
2月12日	笑 1186 1224	写楽特集号の発行

活動実績は、写楽の撮影会を主に掲載していますが、個人の活動としては、国内外旅行や山歩き、まち歩き、趣味の会等、温泉巡り、展示会案内、カメラ機能、操作の勉強成果等々多種多様なフォトと記事が沢山投稿されています。今までも、これからも隠れた才能があると信じています。どうか皆さんこのメーリングリスト ML を大いに活用し投稿して下さい。なお、2017年からは、一笑会の ML に投稿して下さい。

7.第4回今後の予定2017年第3土曜日 ML536		
活動連絡は、一笑会フリーメール ML 掲載		
年月日	当番	場所とテーマ
3月18日	小林	未定
7月15日	山戸	未定
9月16日	小林	未定
11月18日	山戸	未定
12月16日	篠原	未定 忘年会
2018年 1月	世話人	未定 新年会
未定	世話人	品評会

あとは想像の答えは、
両親は、フィルムが入っていることを忘れていたので
問題なく月日は過ぎた。
小遣いが少なく、お土産代となったので、一枚も撮ら
なかったのが、卒業アルバムの記念写真のみ。
なんともほろ苦い、ほのかな少年時代の思い出よ！

7.編集後記 gobat .amagi. アッキー.有さん

会報の編集集中に立春を迎え、春立ちぬと言うと
なんとなく明るい気分になります。今日から春
なのか、でも現実には寒いし花も咲いていない、
人は思いに左右され生きていく動物だとつく
づく思います。写楽の世話人の小林、山戸、篠
原さんの三年間の思いはどうだったのでしょ
うか、当初は大変心配されたと聞きました、で
も活動実績が示すように、錚々たる顔ぶれがあ
ったからこそ順風満帆に運営されてきたもの
と思います。皆様のご協力に感謝、三人にも
感謝です。心に残った記事を紹介し、祖母
が孫に語ったそう「百姓仕事は続けるのが大
事なもんだから、そんなに急いじゃいけねえ。
からだに無理をかけちゃあいけねえ」。親戚が
助け合い収穫する。その後の宴は楽しく、大人
になってもこの季節には体がうずいたそうだ。
無理なく、長く続けられるのが仕事・・・。
体験から出た言葉は心にしみる。
皆様のご協力があってこそ、写楽は長く続け
ることが出来ます、撮影に取り組む姿勢は、自然
体が一番、そのあとの反省会は、話題に花が咲
き一層楽しいです。
今後ともよろしくお願ひいたします。
阿部講師から皆さんへ、カメラと意気投合して
いる時、傑作が生まれます。上手なお付き合い
をお願いします。
カメラを小脇に何処までも朗らかに生き生き
と行けるところまで行きたものです。
撮る勇気、撮らない勇気、勇気凛凛と！

2014年6月14日
2016年7月16日改正
2017年1月14日改正

写楽の規則と注意事項

- 一笑会の写真サークル（名称：写楽）とする
- 写真撮影を通じて「楽しく自由な交流」を目的とする
- 写楽のメンバーは、一笑会会員の希望者で構成する
- 一笑会の役員は、写楽の役員を兼ね、世話人は篠原・山戸・小林とする
- 写楽の日頃の撮影の成果を発表するため、定例

の品評会を年1、2回開催する

- 活動内容は、以下の通りとし、連絡等は、世話人から一笑会のフリーメール ML 等により行う
 - ① ミニ撮影会・勉強会を原則とし2ヶ月に1回行うこととし、必要に応じ同会を随時行える、この会へは、同メンバーの知人の参加ができる
 - ② 阿部講師による現場での撮影テクニック及び室内での写真技術向上のため、カメラ操作等の勉強会を行う
 - ③ メンバーは、自分の作品（A4 プリントまたは相当品）を阿部講師に送付又は持参し審査・講評を受けることができる
 - ④ 写楽品評会の開催時期と内容については、別途メンバーへ案内する
- カメラは原則、写せる機能が有るもの、コンパクトデジタルカメラ、一眼レフカメラのいずれ任意とする
- 活動に関する費用については、実費としその都度、徴収する。年間運用費は徴収しない
- 写楽メンバー全体の写真技術向上の認識共有が出来れば、写真展示会開催に向けた取り組みを行う
- 写真展示会の作品サイズは四つ切またはワイド四つ切とする。額縁は、ハクバ・アルミ額縁レガート チタンカラー。マットの色は、アイボリー系統（原則としてマット厚み2mm、Vカット）マットの作成等は各自、作品に合わせて額縁販売店で作成のこと
- 今後の活動内容の決定、規則の変更は、写楽メンバーで協議し決定する
- 阿部講師からのお願い（撮影会同行の注意事項）
 - 集合場所、日時、時間厳守
 - 出欠は取らないで来た人で出発
 - 前日の天気予報で翌日が雨なら中止（一斉メールで連絡）
 - カメラの電池は必ず充電、予備を忘れずに
 - 水分補給
 - 夢中で撮影していて忘れ物をしないこと

2016年12月4日
写楽世話人

2017年1月写楽品評会案内

- 作品品評会を2017年1月14日の第三土曜日(石神井庁舎会議室)。13時30
- 分より15時頃まで行う(一笑会例会と同日)その後、新年会(かごの屋石神井公園店)
- 作品構成としては撮影会(横浜、鎌倉、浜離宮、津南、平林寺など)から決める。出品者の希望により自由作品でも可だが可能な限り撮影会作品が望ましい
- 出展作品はMAX3点、サイズはA4または四つ切とする。前回同様に作品の裏に作者、題名(コメント)を書く
- 品評会時に臨時会費を徴収する。一人1000円(合計12,000円)。作品賞に充てる
- 作品賞、選者 阿部先生の評価
 - 阿部賞(優秀作品)・・・3千円相当のQUOカード X1作品
 - 技術賞(技術的に魅力ある作品)・・・2千円相当 X2 作品
 - 敢闘賞(努力が認められる作品)・・・1千円相当 X2 作品
- 写楽賞 会員選抜、得票数多い順から1千円 X3 作品
- 会費の余った分は会場費、反省会等に充当
- 品評会終了後、各人自分の作品で最も思い入れのある一点について構図や狙ったポイント、表現したかった、強調したかった事等、3分を限度に発表をする